

第 24 回眼科分子生物学研究会

令和 2 年 1 月 25 日、26 日にホテル京阪ユニバーサルタワーにて第 24 回眼科分子生物学研究会が、大阪大学医学部眼科学教室主催のもと行われました。

会長（当番世話人）を辻川教授が担当され、辻川研究室としてもスタッフとして参加を致しました。

以下に、辻川研 M1 の降幡将伍さんの参加記を記します。

参加記

1 月 25 日 26 日の二日間、私にとって初めての学会に参加しました。全国から眼科の研究者が一同に集まり、緊張感があるなか、明快なプレゼンテーション、活発な質疑応答が行われました。内容は、正直今の時点では理解できないものがほとんどでしたが、いつかこのような舞台で、発表ができるように精進しなければならないと感じました。大阪大学からは、永原先生と柴田先生が発表をされました。柴田先生は全体で 3 位の成績をおさめられ、大阪大学の学生として大変誇りに思いました。個人的に印象に残ったのが、竹田先生の特別講演（腸内細菌と疾患の関わり）です。この講演を聞いて、腸内細菌の研究が進めば、がんなどの疾患が発症してから治療するのではなく、予防医療によって発症を防ぐようになるのではないかと思いました。スタッフとしてですが、このような素晴らしい学会に参加させてくれ、またタピオカをご馳走してくれた辻川教授には感謝申し上げます。

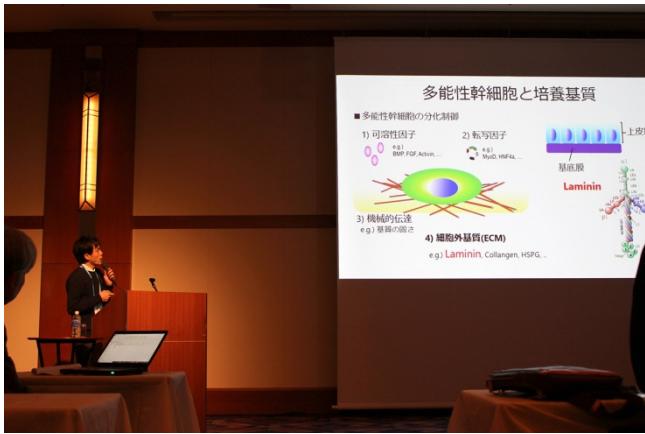


特別講演 竹田潔先生（大阪大学 免疫フロンティアセンター・医学系研究科）

腸内細菌と疾患の関わり



永原由紀子先生（大阪大学） tacstd2 ノックアウトマウスの解析



柴田俊先生（大阪大学） iPS 細胞の異なる眼系譜への選択的ラミニン指向性分化
三位入賞おめでとうございます！



最後に辻川研究室集合写真です。タピオカご馳走でした！